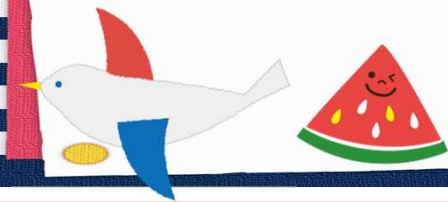


# 坂東地域アグリ通信



平成28年6月20日  
坂東地域農業改良普及センター 発行  
Tel : 0297-34-2134 Fax : 0297-34-3291

## 坂東地域アグリセミナーが始まりました！

6月6日（月），当普及センター主催による平成28年度の「坂東地域アグリセミナー」が始まりました。開講式と併せて開催した今年度最初のセミナーには，管内の新規就農・若手就農者16名が参加しました。

開講式ではセンター長から，「地域を担う農業経営者へ育てていただきたい。また，この講座を仲間作りの場としても活かして欲しい」と期待の言葉が贈られました。

セミナーでは，まず，坂東市の青年農業士・青木達也氏に，これまでの農業経営について講話をしていただきました。「水稻の受託が増加するため，直播栽培に挑戦したい」「農作業は趣味や楽しみ等とバランス保ち取り組むことが大切」などの話はわかりやすく，かつ参考となるものでした。参加者からは活発な質問があり，若い農業者の関心の高さが伺えました。

講話後に座談会が行われ，「現在の悩み」「チャレンジしてみたいこと」「5年後の目標」について情報交換し，受講生同士で交流を深めました。



## 食遊三和が「カリカリ梅」の食育講座を開催

6月8日（水），古河市女性起業ネットワーク委員会「食遊三和」が，古河市三和農村環境改善センターで本年度第1回目の食育講座を開催しました。食遊三和による食育講座は，古河市在住の方を対象に毎年開催されており，当普及センターではその活動を支援しています。

今回は食遊三和の会長を務める，酪農家の荻野利江さんが講師となり，地元の食材を使用した「カリカリ梅」をテーマとした講座を開催しました。17名（女性16名，男性1名）の受講者は，一升マスなどで梅を叩いて割ることで中までよく味が染み込むことや，赤じそは塩でよく揉んで灰汁抜きをしなくてはいけない等，美味しく作るためのポイントの説明を熱心に学びました。各自，分からないことはすぐに食遊三和の方々が教えてくれたこともあり，全員が歯ごたえが良く色鮮やかな「カリカリ梅」に仕上げることが出来ました。



## パン用小麦「ゆめかおり」ほ場見学会を開催



6月5日（日），坂東市内にて新麦コレクション主催による「ゆめかおり」のほ場見学会が開催され，実需者，生産者，普及センターの計17名が参加しました。

見学会は製パン業者や生産者など，麦やパンの生産・流通・販売に関わる人々の交流を深め，想いを一つにして収穫の恵みに感謝する取り組みとして企画され，「ゆめかおり」を使用している製パン業者とのつながりによって初めて開催されました。見学会では，茨城パン小麦栽培研究会会員の麦調製施設と「ゆめかおり」ほ場の見学，そして収穫体験を行いました。

「ゆめかおり」を初めて見る参加者も多く収穫体験も非常に好評で，参加者にとって有意義な一日となりました。参加した製パン業者から「麦や農家を知れば知るほど取り扱わずにはいられない」といった感想も聞かれ，産地PRの重要性を痛感しました

普及センターでは，引き続き顔の見える産地づくりを支援し，いばらきブランドの確立を進めていきます。



## 夏ネギ立毛競作会が今年も始まりました

5月27日（金），岩井農協園芸部では夏ネギの立毛競作会の審査が行われました。立毛競作会は今年で38回目を迎え，近年は初夏・夏ネギを対象に5月～8月まで毎月1回審査を実施しています。

昨年までは岩井農協園芸部役員と岩井農協営農課，坂東市役所，坂東普及センターの職員が審査していましたが，今年からは特別審査員として京浜市場のネギ担当者が加わり，各支部から推薦された14ほ場について現地および出荷調製した現物の審査をしました。

今年の初夏ネギは暖冬の影響で生育が早く，太りは良好で，さび病や白絹病などの病害やアザミウマなどの食害が目立ってくる時期ではありますが，立毛審査出品ほ場はきれいに管理されていました。市場の担当者は園芸部役員とネギの栽培や調製時に気をつけていることなど情報交換を行っていました。

普及センターでは今後，病虫害対策などの情報提供を行い，8月の出荷終わりまでの収量・品質安定を支援していきます。



## 7月 土壌診断実施日のお知らせ



土づくり推進のため土壌診断を受け付けています。  
個人等の農家の方が対象です。

7月12日（火）

7月26日（火）を予定しております。

※実施日は変更になることがありますので，ご了承ください。  
また，結果のご連絡には数日かかる予定です。

## 編集後記

スマホを落としたら液晶が割れて操作不能になったのを機に，変換アダプタでつなぐとスマホをマウスで操作できることを知りました。緊急事態の際はお試しください。壊さないように気をつけるのが先ですが。

（柴原）

